

第 112 回関西スペイン語教授法ワークショップ(TADESKA) 開催の報告

CXII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai

日時:2017年11月4日(土) 10:30 - 12:30

場所:関西学院大学梅田キャンパス(ハブスクエア) 1003 教室

担当者:各務恭子

「GIDE(2015)『スペイン語学習のめやす』を利用して所要時間 20 分の教案を作る

テーマ 6:食べ物・飲み物」

* Fecha y hora: sábado, 4 de noviembre de 2017, de 10:30 a 12:30

* Lugar: Universidad Kwansei Gakuin, Campus de Umeda "K.G. Hub Square", Aula 1003

* Encargada: Kyoko Kakumu

* “Elaboración de unidades didácticas de aproximadamente 20 minutos utilizando "Un modelo de contenidos para un modelo de actuación"(GIDE 2015): 6 comidas y bebidas)”

出席者 10名(発表者を含む)

<ワークショップの流れ>

本教案は発表者が実際の授業で行なっている内容をアレンジしたものである。初めに「本ワークショップの概要プリント」(ファイル参照)を使用し今回の学習で出来るようになること、また全体の流れを説明。

<内容>

「本ワークショップの概要プリント」

<参加いただいた方からの意見>

- ① メニュー表は実際の物をネットからでも入手できるし、手書きなどもあるのでそういったのを使った方がより実際に即した形になるのではないか
- ② 文法項目に食事に関する動詞、直説法現在活用とあるが実際に20分教案にはそれが出ていないのではないか
- ③ 20分教案の中ではないが「レストランでの注文と支払」の中の食事の後の料金、チップの支払い方は実際の場で行われているものなのか
- ④ メイン料理の salmón a la plancha には冠詞がついていなくて un bistec には不定冠詞がついている。また飲み物の agua mineral sin gas にはついていなくて una cerveza には不定冠詞がついているがどうしてなのか

<発表者の反省と感想>

実際の授業でしていることなので簡単だと思っていたが、やってみると勉強不足を痛感した。

意見があったように実際のメニューの出来れば手書きなどを使えばより効果的だと思う。また今回学習した個所は食事に関する動詞などが出ていなかった点は指摘されるまで気づかなかった。

料理や飲み物の単語、注文する際に冠詞が付いたり、つかなかったりは習慣でそういった言い方をすると出席されたネイティブの方の意見だったが、これも見過ごしていた。こういったことを反省しこれからの授業に生かしていきたい。